

R. S. さん

部活：E. S. C. (English Speaking Club)

委員会：英語学科委員

★この大会に出場する経緯を簡単に・・・

高校3年の友人に紹介された。

一年間の留学で培った英語力、そして今まで学校で養ってきた教養を用いて、自分の実力を試してみたいという思いが強くなり、参加を決意した。

★決勝大会で、特に印象に残っていることは？

①世界のレベルの高さ

自分たちが一生懸命に決勝大会の準備をしていたにも関わらず、思ったような賞を取ることが出来ず悔いが残っている。

②国境を越えての絆

他国の代表たちと交流することができた。互いの文化や習慣を受け入れ、心から「親友」と呼べる友人ができたことが私にとって一番嬉しかったことだ。

③チームとしての団結力

一人ひとりが責任意識を持ち“三人四脚”で準備を進めたことで、お互いに信頼感が芽生え、団結して決勝大会に臨むことができた。この絆は卒業しても続くものだと感じている。

★準備等で大変だったことは？

普通の試験のように、範囲が決まっているわけではなかったため、自分たちで書籍やインターネットの情報を駆使して勉強を進めていくことが大変だった。

特に私たちは湘南白百合として初めての参加だったため、手探りで準備を進めていかなければならず、最初はどこから手をつければいいのか分からず、困難を極めた。

★この大会に参加して、良かったこと・自分の力になったことは？

広い教養を身につけることができた。

普段の学校生活で私は、英国社の3教科を主に学んでいるが、WSCを通して学んだ6教科の知識を3教科に加えて身につけることができたと感じた。実際に本を読んでいる、WSCで学んだことが出てくることも多く、自分たちの学びが実生活で役立っていると感じる。

★これからの目標は？

広い教養を持ち、湘南白百合の誇りを持って生きるグローバルな女性になること。

C. N. さん

部活：E. S. C. (English Speaking Club)、テニス同好会

委員会：ホームルーム委員

★この大会に出場する経緯を簡単に・・・

先輩にこの大会を紹介していただき、同じ学年の友人に声をかけて参加しました。

★決勝大会で、特に印象に残っていることは？

東京大会、アテネ大会、決勝大会と進んでいくにつれて、参加者のレベルが上がっていくのを感じました。4競技全てにおいてレベルの高さに圧倒されましたが、その中で1番印象に残っているのはディベートです。私たちのチームはディベートを一番の得点源にしていたのですが、本番では完敗してしまいました。今まで私たちが取り組んできたディベートとは一味違うものを体験できたことは、大きな学びとなりました。

★準備等で大変だったことは？

WSCの勉強は範囲が指定されていますが、勉強材料が与えられるのではなく、自分で調べものをする必要があります。終わりのない学習は、新たな挑戦となりました。また、大会が試験直前や直後にあったため、勉強と両立させること、他の課外活動と両立させることも課題の一つでした。

★この大会に参加して、良かったこと・自分の力になったことは？

WSCはどのレベルの英語力を持つ人でも平等に参加できる大会です。そのため、英語圏出身者と英語で対等に戦わなければいけません。今までの人生をずっと英語で話し、英語を書いて過ごしてきた参加者に勝つためにはどうしたらいいか、悩みました。結果的に、ディベート力、ライティング力などの英語力に直結する力はもちろん、その一歩上の思考力や判断力を試されたことが大変良い経験になりました。また、そのような中でも入賞できたことは自信に繋がりました。

★これからの目標は？

私は海外大学への進学を目指しています。今までは英語ができれば良いという環境にいましたが、英語を使って何をするかということが問われる場所に身をおいて、より一層自分を高めていきたいと思っています。

M. I. さん

部活：英語部

委員会：ホームルーム委員

★この大会に出場する経緯を簡単に・・・

英語ディベートでお世話になった先輩に声をかけて頂いたことが直接のきっかけです。自分なりに調べてみると、大会趣旨が勉強とも遊びとも言い切れず、学びの楽しさを体現したような内容で、興味を持ち、気軽な気持ちで東京大会に参加しました。

★決勝大会で、特に印象に残っていることは？

ディベートです。私は、ディベートを得意としており、少なからず自信もあったのですが、いとも鮮やかにこちらの論を崩されたり、難攻不落と思われるガードを張られたり、世界レベルのスケールに圧倒されました。世界クラスで戦うには、より一層の研鑽が必要であることを体感しました。

★準備等で大変だったことは？

本校から初参加であり、前例がなく、対策としてどうすべきか全く情報がありませんでした。大会側から、6つのテーマと各々の小テーマが与えられましたが、それをどう利用するのはこちら次第でした。私自身は、実際に東京大会に出場してから、大会概略がつかめた気がします。

アテネ、さらにイエールに向けては、膨大な量の情報をどう自分の知識として整理していくかに苦労しました。

また、テーマの中には、文化的に日本人にはなじみのないものも多く、その点も大変でした。

★この大会に参加して、良かったこと・自分の力になったことは？

大会のレベルアップとともに自分自身の水準も上げることができ、決勝大会で一番満足のいく結果を残すことができました。具体的には、アテネ大会では銀だった個人総合のメダルの色がイエール大会では金になり、大きな自信になりました。

また、自分のレベルを世界基準で相対的に見つめることができ、今後ますます加速するグローバル化の波に負けぬよう、どのように己を高めていくかを改めて考え直す良い機会になりました。

★これからの目標は？

将来、自分が何をしたいのか、何になりたいのか、今はまだ決めかねていますが、世界各国の学生たちとアイデアや意見を交換できたことで、自分自身の夢を少しずつ固めることができているように思います。

夢を実現し、世界で活躍できる女性になるよう、日々精進したいと思います。